

委員会報告書

委員会名	平成28年度第3回生産技術委員会
開催日時	平成28年9月1日(木) 15:30~17:30
開催場所	JX石油開発(株) 3階 0319会議室
出席者 (敬称略)	安楽委員長、倉本副委員長、山本、渡辺、濱本、城戸、田中、三浦、住廣、林田、村井、大内、栗原、河合、田代(運営幹事) 以上26名中15名
議事	<p>1. 委員交代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コスモエネルギー開発(株) 山本 亮一 様(内山委員と交代) ・ 三井石油開発(株) 三浦 弘平 様(大西委員と交代) ・ 早稲田大学 古井 健二 様(9月2日より栗原委員と交代) <p>2. 幹事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石油鉱業連盟及びJOGMECより5年ごとに発行している資源評価レポート作成に関する協力依頼があった。 ・ 秋季講演会について、大学からの講演はなくなりプレゼン数が7つから6つに変更。外国籍技術者枠の講演者を変更。 ・ 石油鉱業連盟との業務受託契約を結ぶための手続きが進行中。来年度以降は石鉱連から石油技術協会に提供される予算について要相談。 ・ 世界石油会議(2017年イスタンブール大会)のアブストラクト送付件数が不十分であることから各社に積極的な送付が求められた。 <p>3. 理事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協会運営検討ワーキンググループにて、収支を改善するためのアイデア出しが行われ、協会誌のデジタル化、春季講演会における参加費の徴収等の意見が出た。固まり次第幹事会で諮られる予定。 <p>4. シンポジウム原稿の査読状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12件中初稿、初稿7件受領。未提出の5件についても原稿作成中であることを確認済み。 ・ これから生産技術委員担当者による査読作業がスタートする。 ・ 査読担当者は、2週間以内に査読を完了させること。初出略語のフルスペル記載、単位系、参考文献の記載方法、図表の見やすさについてよく確認し、投稿要領と異なる部分があれば指摘すること。 <p>5. 平成29年度春季講演会シンポジウムテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【不確実性およびリスク評価】をキーワードとして関連する講演題材があるかどうか各社で調査をしてもらうこととなった。 ・ 主な議論の内容は下記の通り <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事前アンケート結果では「モデリング・シミュレーション」と「レザバーマネジメント」というキーワードが多く挙げられた。 ➢ 上記キーワードでは、一部会社・各大学からの講演題材の提

示が難しくなる。石油開発会社、コンサルタント会社、プラントエンジニアリング会社、大学と幅広い母体に属する人が興味を持ち、講演できるようなテーマがよいだろう。

- 「不確実性」や「リスク評価」をキーワードとすれば、貯留層モデリングやシミュレーションにとどまらず、データ取得、モニタリング、観測された情報の分析等幅広い題材を扱うことができるのではないか。
- 昨今の低油価環境においてはどの企業も「不確実性」「リスク評価」への関心は高まっているはずだ。ただし、シンポジウムのテーマ名とするには「不確実性」という言葉は一般には受け入れづらいので、より受け入れやすく前向きなテーマ名を考えたい。
- 「不確実性をどう扱っていくか」という方向性にすれば前向きなシンポジウムになるだろう。
- シンポジウムのキーワードとして、特定の要素技術(例えば「デュアルラテラル」、「スマートマネジメント」)に焦点を当てるのも面白い。ただし、その場合は講演可能な企業が相当絞られてしまうだろう。

6. 平成 29 年度春季講演会見学会について

- ・ 事前アンケートの結果では千葉県、神奈川県所在の候補地が多く挙げられた。
- ・ 小委員会は次回委員会までに見学会ルートの候補を 3 つ程度作成する。

7. 大学での講演内容について

- ・ 次回・次々回委員会は大学での開催となり、委員会の後の話題提供として、参加各社より「我が国の石油・天然ガス開発業界の活動紹介」と題してプロジェクト紹介や仕事の様子の紹介を行う。
- ・ 運営幹事は、活動紹介を希望する委員の数を 9 月第 3 週中にとりまとめ、大学側との時間・会場の調整を行なう。

8. 次回委員会開催場所について

- ・ 第 4 回：平成 28 年 11 月 4 日（金） 14:30～ 秋田大学
- ・ 第 5 回：平成 28 年 12 月 2 日（金） 14:30～ 東北大学
- ・ 第 6 回：平成 29 年 1 月 12 日（木） 14:30～ 三井石油開発(株)

9. 話題提供

- ・ 「当社の出砂障害に対する取り組み例の紹介」
JX 石油開発株式会社 第 1 事業本部(アジア・オセアニア担当)
技術 1 部 貯留層・生産 1 グループ 森 裕樹 様

以上